

指導案

パラリンピックってなんだろう？

授業の目標

- ・パラリンピックの歴史や価値を知り、誰もが参加できるようにする、活躍できるようにするために、「工夫する」という考え方が大切であることを理解する。
- ・身近な生活場面（掃除の時間）について、一緒に取り組むためにどう変えられるかを考えることを通して、これまで当たり前だと思い込んでいたことにとらわれず、自分たちなりに考えていくことの大切さを実感する。

【授業後にめざす姿】

- ・誰もが参加できるようにする、活躍できるようにすることを大切にできる。
- ・みんなと一緒に取り組めるようにする工夫を考えることができる。

授業展開（45分）

時間	学習活動と内容	指導上の留意点
7分  約4分30秒	<p>1 パラリンピック・パラスポーツについて知っているか、投げかけ、興味を喚起する。</p> <p>○映像を再生し、以下の問いで一時停止し、どのように考えるか問う。</p> <p>問い 視覚に障害がある人たちが、サッカーをするために、どんなくふうをしているでしょうか？</p> <p>○映像を再開し、パラスポーツが、用具やルールの工夫で、みんなが参加できるようになっていることをおさえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像では、パラリンピックの競技の映像から導入し、陸上競技の用具やルールを例に、参加するアスリートが公平に競い合うためのいろいろな工夫を紹介している。 ・映像では、ブラインドフットボールを例に、用具やルールの工夫を具体的に解説している。
6分	<p>2 考えよう</p> <p>みんながいっしょに参加できるように、どんなくふうがあるだろう？</p> <p>○どんな工夫が見つかったか、何のための工夫なのか、グループで話し合わせるなどして考えさせる。</p> <p>○発表させ、考えを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのポッチャの絵を見て、工夫だと思ふところに、○をつけさせる。 ・ヒントのスライドショーを見て、何のための工夫か考えさせる。 ・さまざまな人が参加し、活躍できるようにルールや用具が工夫されていることを伝える。
7分  約6分	<p>3 「映像のクラスは、どんな工夫を見つけたのかな？」と投げかけ、映像を再生する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像では、ポッチャのルールの推移を紹介し、「みんながいっしょに参加できるように、変えていくのが当たり前」であることを説明し、その後、パラリンピックの成り立ちと、町を変えてきたと解説するストーリーになっている。
15分	<p>4 考えよう</p> <p>みんながいっしょにそうじに取り組むために、どのように変えられるだろう？</p> <p>○ヒントを参考に、どのように変えられるか、グループで話し合わせるなどして、さらに考えさせる。</p> <p>○発表させ、考えを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントとして、前腕欠損の児童、弱視の児童それぞれが、「障害特性（難しいこと）」と「具体的な掃除の場面」について思っていることを準備。また「協力する」「得意をいかす」ことで「一緒に」掃除をするというヒントを準備。 ・児童の考えの発表や共有の際には、映像で出てきた「決めつけず、本人に聞いてみる」ことも大切であることを伝える。
10分  約2分30秒	<p>5 「映像のクラスでは、どんな工夫を考えたのかな？」と投げかけ、映像を再生する。</p> <p>○映像のまとめを改めておさえる。</p> <p>○本時のふりかえりを記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像では、まとめとして「どうすれば参加できるようになるか」をその人と一緒に考えることが大切であると伝えている。 ・タマちゃんのつぶやきを提示し、その後の学習や生活につなげるよう伝えるとよい。



ワークのポイント

考えよう

みんながいっしょに参加できるように、
どことなくふうがあるだろう？

- ・ポッチャの絵を見て工夫だと思うところに、○をつけさせます。
- ・何のための工夫が考えて、書かせます。

考えよう

みんながいっしょにそうじに取り組むために、
どのように変えられるだろう？

- ・前腕欠損の児童、弱視の児童と一緒に掃除に取り組むためには、どのように変えられるか考えさせます。

考えよう画面では、自分の端末から
クリック！



スライドショー形式で、ポッチャの写真
を準備。注目する点も明示。



前腕欠損の児童、弱視の児童それぞれの「障
害特性」「具体的な掃除の場面」を準備。



「協力する」「用具やルール（やり方）を
工夫する」ことで「一緒に」掃除をする
というヒントを準備。

【話し合うときのポイント】

話し合いの際、児童にお伝えください。

- ① 他の人の意見をしっかり聞こう。
- ② 意見を伝えた人には、拍手をしよう。
- ③ 「いいね」「なるほど」など相手を認めながら、意見をつなげよう。
- ④ 全員が発言できるようにしよう。

ここをクリックすると
表示されます！



◆ ICTの活用アイデア

グループで考える・クラスの考えを知る（協動的な学び）

グループでの話し合いなどでは、ICTを活用することで、考えを可視化し、
効果的に深めることができます。



←グループごとに、考え
を打ち込んでいる例。
クラスの考えを見ながら、
さらに考えを広げること
ができます。
(Googleスライドの例)



個人が見つけた工夫→
を共有している例。
(ロイノートの例)



自分のペースで考える

(個別最適な学び)

考えようのページには、ヒントを準備
しています。ぜひ、各自の端末から
開かせ、自分で考える参考にさせて
ください。

その問いを考えたときに、URLを送付
したり、開かせたりすると、活動に
集中させることができます。



また、イヤホン準備する
と、映像視聴も含め、自分
のペースで、自立的に学習
を進めることができます。

ワークシート回答例

I'mPOSSIBLE 本資料の無断での転載、複製、改変等の行為を禁止します。

パラリンピックってなんだろう？

年 組 番 名前

1 映像 ▶ 初めの映像を見よう

みんながいっしょに参加できるようにするためには、どんなことが大切か考えよう。



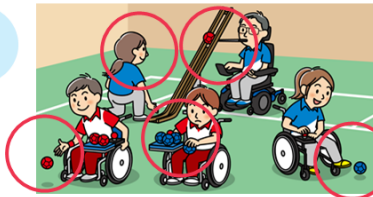
自分で学習する
サイトはこちら



2 考えよう みんながいっしょに参加できるように、
どことなくふうがあるだろう？

1. ポッチャの絵を見て、くふうだと思ふところに○をつけよう。

ルール
の
くふう



用具
の
くふう

2. 考えるヒントを見て、何のためにどことなくふうをしているのか、
書こう。

- 例
- いろいろな人がさんかできるように、上からでも下からでも投げてよいし、足でけてもよい。
 - ボールを投げるのをサポートできるように、用具を使ったり、手伝ってくれる人といっしょにやったりしてもよい。



3 映像 ▶ 続きの映像を見よう

4 考えよう みんながいっしょにそうじに取り組むために、
どのように変えられるだろう？

いっしょにそうじするためのくふうを考えて、書こう。



「代わってあげる」
でいいのかな？

- 例
- ひなさん
かた方うででもごみを入れやすいように、おいて使えるちりとりを用意する。
 - はるとさん
「ここからここまでだよ」と伝えたり、マークをつけたりしてわかりやすくする。
 - 苦手そうな人を見かけたら、まずは話しかけてみて、困っていたらくふうしていっしょにやる。

考える
ヒント



他の人の考えでよいと思ったものをメモしよう。

5 映像 ▶ まとめの映像を見よう



ふりかえり

授業をふりかえって、気づいたこと、考えたことを書こう。

- 例
- パラリンピックでは、くふうしていろいろな人が活やくできるようにしていることがわかった。
 - できる、できないを勝手に決めつけないで、まずは様子を見ることが大事だと思った。そして、その人自身に聞いてみないとわからないこともあると気づいた。
 - 代わってあげることがよいと思っていたけれど、いやな思いをしている場合もあることに気づいた。
 - どうすればいっしょにできるのか、考えたりくふうしたりしようと思った。

タマちゃんの
つぶやきも
見てね！

